



〔発行〕中 央 区 議 会
中央区築地一丁目1番1号
〔電話〕3543-0211(大代表)
〔中央区議会ホームページ〕
<https://www.kugikai.city.chuo.lg.jp/>

ちゅうおう —Chuo City Assembly—

区議会だより



第2回定例会



令和5年(2023年)
No. 261

令和5年度中央区一般会計補正予算を可決

多子世帯への保育料負担軽減の拡充（第2子無償化の実施）、産後ケア事業の充実、インフレスライド条項等の適用に伴う工事費の増額に伴い、合計4億5,332万9千円を追加する補正予算を可決しました。（6面）

中央区事務手数料条例の一部を改正する条例などを可決

条例の一部改正、請負契約、副区長の選任同意などを原案のとおり可決・同意しました。（6面）

アメリカノウゼンカズラ

主 な 内 容

- 一般質問
..... 2面～4面
- 委員会の活動
- 請願
- 中央区附属機関等議会選出委員
および評議員
..... 5面
- 議案等の審議結果
..... 6面

第2回定例会の経過

- | | |
|----------|---------|
| 6月20～22日 | 本会議 |
| 23日 | 企画総務委員会 |
| 27日 | 区民文教委員会 |
| | 企画総務委員会 |
| 28日 | 環境建設委員会 |
| | 福祉保健委員会 |
| 30日 | 本会議 |

提出された議案等

- ◆区長提出議案
 - ・条例..... 14件
 - ・予算..... 1件
 - ・契約..... 24件
 - ・財産..... 5件
 - ・選任同意..... 1件
 - ・その他..... 1件
- ◆議員提出議案
 - ・候補者の推薦..... 1件
- ◆その他
 - ・人権擁護委員の推薦..... 1件



区議会ホームページ
をご利用ください！

中央区議会では、区議会の活動状況を広く区民の皆様にお知らせするため、ホームページを開設しています。会議録の検索や本会議および各委員会の日程などがご覧いただけますので、ぜひご利用ください。



一般質問の要旨

一般質問とは
区の仕事全般について、区長等
に報告や説明を求めることです。



中央区議会自由民主党議員団
竹内 幸美

区長二期目の所信について

問 区民生活には、今なお新型コロナウイルス感染症の影響が残るが、基本計画2023に込めた思いと今後の区政について考えを。

答 リーディングプロジェクトに掲げた課題をはじめ、暮らしや地域に密着したさまざまな課題に対し、各種施策を総合的かつ計画的に展開し、すべての区民が暮らしやすいまちづくりを推進していく。4年後には20万都市となることが見込まれ新たなステージに立つことから、基本計画を区民と共に歩む羅針盤として、誰もが夢と希望を持ち、豊かさを実感できる中央区を実現していく。

晴海のまちについて

問 地域コミュニティの基盤となる「はるみらい」について、現在の課題は。また、今後の運営協議会と新たな住民との関係性やコミュニティ形成に向けた見通しは。

答 現在、住民や企業で構成される運営協議会への新たな住民等の参画を課題と捉えており、協議会の構成も地域の変化に合わせ柔軟に対応していく方向性とした。区としては、施設が地域活動の拠点として役割を十分に発揮し、まち開き後の円滑なコミュニティが着実に形成されるよう取り組んでいく。

問 (1)防災拠点の開設やその機能、新たな住民への防災対策の周知などについて見解は。(2)若者や子どもたちが参加したくなるような防災の取り組みについて、昨年度の実績は。今年度の展開、そして晴海の新たなまちに対しての活用などは。

答 (1)今月末に開催予定の「月島第三小学校・晴海中学校防災拠点運営委員会」の場で、新たな防災拠点の開設に向けた体制やスケジュールを示す。新たな住民には、晴海フラッグに入居開始以前から周知活動を展開していく。(2)令和4年度には、2つの小学校の拠点訓練において、こども防災体験コーナーや競技形式の訓練などを取り入れ、明正小学校では参加者数が過去最高となった。これを受け、現在は全拠点委員会に対し、多世代参加型訓練メニューの導入を提案している。今年度は新たに晴海中学校の生徒が、授業の一環で拠点訓練に参加する。次年度以降、新設する晴海西小中学校を含め全小中学校に順次拡大していく。

弱者への配慮について

問 高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画の改定を前に、コロナ禍の影響をどのように分析しているか。高齢社会が進む現状に対する、フレイル予防についての見解は。

答 コロナ禍においては、高齢者が運動や交流の機会を失い、フレイル状態に陥りやすい状況であったと捉えている。高齢者の健康づくりを推進し、地域包括ケアシステムをより深化させることで、いきいきと暮らし続けることができるよう取り組んでいく。

問 弱者の視点に立った交通施策の推進や配慮について見解は。

答 バリアフリーマップの配布や、鉄道駅でのエレベーター設置等を関係機関に働きかけてきた。今後も共生社会の実現に向け、あらゆる場に「心のバリアフリー」を広げる取り組みを推進する。



中央区議会自由民主党議員団
塚田 秀伸

水辺空間を機能的で魅力ある スペースとする施策について

問 水上交通の定期便の就航に向け、船着場周辺の水辺環境に便益施設等、人の集まる賑わいスペースを設営しては。

答 都では、築地市場跡地において、船着場や民間活力を利用したにぎわい向上に資する施設の整備を予定しており、区では、築地の地域資源や立地特性を活かしたまちづくりを要望している。

問 亀島川の緑道化や水辺活用などについての計画は。水際へのアクセスなど、親水スペースとしての活用法もあるのでは。

答 緑道の整備は、テラスへ接続する場所の確保など様々な課題はあるが、連続化の実現を目指していく。水辺の活用については、地域主催の水辺イベントの開催により、にぎわいの場として利用されている。今後、より一層の有効活用が図れるよう、課題を解決するとともに、都など関係機関と連携し取り組みを進める。

交通環境の変化等により 危惧される案件への対策について

問 本区では相当数の建築計画が存在するが、近接し工期が重なれば工事車両も集中するため、一定のルール作りが必要では。

答 開発事業者に対し、走行ルートに関する交通管理者との協議を要請するとともに、工事工程や走行ルートを調整するよう指導してきた。今後も、通学路やスクールゾーンを考慮した走行ルートや運行計画の検討を求めるなど、さらなる指導に取り組む。

コロナ禍により、体力の落ちた方 に向けたスポーツ施策について

問 (1)体力の低下した方や、運動の嫌いな方でも、体を動かす喜びやスポーツの魅力を感じられるような試みは。(2)体育協会や地域スポーツクラブなどの団体をさらにアピールする考えは。(3)これらの団体が実施するスポーツ教室等の現状や課題は。

答 (1)区民スポーツの日では、マラソン大会の定員を拡大し、区民の参加機会を創出したり、「相撲体験コーナー」を再開するなど、内容を充実させ実施する予定。(2)(3)区のおしらせ等により、事業周知に協力しているが、団体の認知度を高め参加を促すことや、活動場所確保の課題も認識している。団体の要望を聴取しながら、課題解決に取り組み、強みを生かした事業を展開していく。

教育環境について

問 日本橋地域において、(1)区立小学校に特別支援学級を設置する考えは。(2)通学区域を変更する考えは。

答 (1)通いやすい立地やスペースの確保などが重要であり、総合的に勘案し検討案を示していく。(2)児童数の変化を見極めつつ、良好な教育環境の向上や特別支援学級の設置などを考慮し、総合的に判断する必要がある。

区議会だよりの個別郵送について

次号の「区議会だより」は、新聞折込でお届けします。新聞を定期購読しておらず、「区議会だより」を入手することが困難な方（おおむね65歳以上の方、もしくは障害者手帳をお持ちの方）には郵送でお届けします。詳しくは、議会局調査係までご連絡ください。

電話 (3546) 5559 FAX (3546) 9552 Eメールアドレス kugikai@city.chuo.lg.jp



かがやき中央

青木かの

終わりの見えない

市街地再開発事業について

問

今後の方針として、特に4年後に20万人都市が達成された後の市街地再開発事業について考えは。

答

都心・臨海地下鉄新線の実現や高速道路の再編が喫緊の課題となっている。また、賑わいを創出する新たな歩行者ネットワークの形成や、水害対策を講じた水辺空間の整備など、本区の発展を支える基盤事業を着実に進める必要があることから、まちづくりの一つの手法として、今後も市街地再開発事業を活用していく。

佃一丁目の建て替えについて

問

佃一丁目内の古い建物や路地を、区として保全すべきでは。

答

建物や公道ではない路地などの土地は私的所有物であるため、街並み保全の観点による制限等は、地元からの発意のもと地域での話し合いや合意に基づき定められるものと認識している。

環状第3号線について

問

現在区が行っている環状第3号線実現への取り組み状況は。

答

第四次事業化計画期間である令和7年度までの事業化に向けては、区内の未整備区間について、区の考えを踏まえた整備となるよう都に働きかけていく。

その他質問事項

①今後の東京BRTについて ②今後の都バスの再拡充について ③新しい水上交通について



かがやき中央

ほづみ ゆうき

放課後の居場所対策への現状把握と

今後の対応について

問

学童クラブとプレディ利用者の声を明らかにするため、利用状況や満足度などの実態調査が不可欠と考えるが、区の見解は。

答

日頃の活動の中で、児童や保護者とコミュニケーションを図りながら意見を伺い、事業運営に反映している。現時点で実態調査を実施する考えはないが、今後も引き続き利用者の声を聞くとともに、これまでいただいた意見を参考に、子どもたちにとってより良い放課後環境を実現できるよう取り組んでいく。

児童館への直接来館制度の導入について

問

放課後の居場所の選択肢として、学童クラブの待機児童などが、小学校から直接児童館へ来館できる制度を導入すべきでは。

答

来年度からプレディプラスを実施し、学童クラブ入会希望者の受け入れ態勢を整備するので、そのような制度は導入しない。

江戸バスの高齢者等への無償化にかかる効果検証について

問

効果の検証方法は。効果がみられない場合の施策の撤回は。

答

各施策の相乗効果により福祉の向上を目指しているため、無償化のみをもって検証できるものではない。多くの方に利用いただき、コロナ前の生活を取り戻す一助となるよう継続していく。

その他質問事項

①日本橋プラザ株式会社に対する土地貸付について ②公正な入札が行われるための制度上の整備について



中央区議会公明党

堀田 弥生

日本橋川の水質浄化について

問

ハイビーズ*の設置により悪臭の低減効果が認められた日本橋船着場以外にも、日本橋川には悪臭対策の必要な場所がまだ多くあると認識している。今後の区の取り組みについて見解を。

答

水質浄化には、下流域での底質の改善と上流域からの水量の増加が必要と認識している。区は日本橋船着場周辺環境改善事業におけるモニタリング調査で、ハイビーズの活用により底質が改善した実績を踏まえ、現在ハイビーズの敷設範囲の拡大について都と協議している。

問

(1)都の「外濠浄化プロジェクト」に対する区の評価は。(2)外濠から日本橋川まで浄水をつなげるには、現計画では導水量が足りないとの指摘があるが、都へさらなる働きかけをする考えは。

答

(1)外濠への導水で、水の滞留が緩和されることで、一定の水質浄化が見込めるものと期待している。(2)本プロジェクトによる導水量については、都の計画を注視し、水質状況に応じて導水量の増加に関する必要な措置を都に要請していく予定である。

道路交通法改正に伴う取り組みについて

問

本年の改正で、自転車利用者は年齢を問わずヘルメットの着用が努力義務化されたが、安全対策の必要性のさらなる周知徹底や、ヘルメット購入費用の助成について区の考えは。

答

これまでも関係機関と連携し、着用の重要性について周知してきたが、着用率の向上を図るには、ヘルメットの購入負担を軽減し購入意欲を高める取り組みが必要である。引き続き、着用の重要性や「自転車安全利用5則」の遵守について、さまざまな機会を捉えて周知徹底し、購入費用補助の実施を検討していく。

問

自転車の乗り方や交通ルールを学べる場所の確保について見解を。

答

校庭開放なども視野に、保護者とともに自転車の練習ができる場所やルール等を学べる機会の確保に向け検討を進めている。

国保加入者の健康増進に向けた取り組みについて

問

人間ドックの助成など健診受診率向上に向けたさらなる取り組みが必要と考えるが、今後の取り組みについて見解を。

答

地区医師会の協力を得て、かかりつけ医などお住まいの近くの医療機関で受診できる環境を整備しており、人間ドックの助成は予定していない。今後もさまざまな取り組みを展開していく。

その他質問事項

公文書の管理について

※ハイビーズとは？

環境改善機能に優れた石炭灰造粒物（火力発電所から発生した石炭灰を造粒したもの）。悪臭の原因となる硫化水素や栄養塩の溶出を抑制する性質がある。

本議会の発言内容は会議録に収録され、後日、本庁舎情報公開コーナーおよび区立図書館に備えますので、そこで閲覧することができます。また、区議会ホームページにも掲載しますのでどうぞご利用ください。



中央区民クラブ
渡部 恵子

基本計画2023が示す
「プロアクティブコミュニティ※」について

- 問 発災後に防災拠点が担う課題は非常に多く、防災拠点運営委員会の参加者だけでは拠点運営が厳しいと考える。さまざまな防災訓練を通じ、地域コミュニティの醸成を推進していく考えは。
- 答 多世代参加型訓練の導入や小中学生の参加による拠点訓練の充実を図る予定。こうした場の創出は、区民同士、マンション間などさまざまな形での交流を活発にし、人々のつながりや顔の見える関係づくりに結び付くものと考えている。地域で支え合い、助け合う環境が一層広がるよう、防災拠点運営委員会の活動を積極的に支援し、さまざまな取り組みを展開することで、地域防災力の向上とともに地域コミュニティの醸成に努めていく。
- 問 晴海地区での新しいコミュニティの拠点となる「はるみら

い」を活用した、新たなまちにおけるコミュニティ形成について区を考えを。

答 既存コミュニティとの融合を着実に実践していくため、さまざまな方に本施設を活用していただくことで新たなコミュニティ形成の機会を創出していく。そのため、スタジオを活用した教室やイベントの開催を積極的に検討することや、新たな住民、企業にも運営協議会への参画を促し、一体となって良好なコミュニティ形成に取り組んでもらうよう努めていく。

「新しい学び」の進化に向けて

- 問 AIが人間知能を超える、シンギュラリティを迎える時代が想定されるが、学習指導要領改訂で示された、新しい時代に育成すべき資質・能力の三つの柱について、現在の取り組み状況は。
- 答 三つの柱を軸とした学習活動を展開するほか、タブレットを活用しながら情報を収集し、整理・分析する情報活用能力の習得や、協働して解決策を見いだす探究的な活動による問題発見・解決能力等を育んでいる。答えが一つでない課題を協働しながら多角的に考察し解決する力を身に付け、予測困難な時代や状況にも対応できる資質・能力を備えた子どもたちの育成に邁進していく。



日本共産党中央区議会議員団
奥村 暁子

マイナンバーカードについて

- 問 マイナ保険証のトラブルが多い、資格確認システムで「無効・該当なし」と判断されるなどの不具合は把握しているか。
- 答 オンライン資格確認等システムで資格確認ができず、窓口負担が10割となったという報告や相談は、区民から寄せられていない。医療機関から資格確認ができないという相談は数件あるが、本区の国民健康保険等のシステムにより適切に対応している。
- 問 特養ホーム等にマイナ保険証管理を負わせるのは問題では。
- 答 国の責任で取り扱い方針を示すべきものと考えている。
- 問 2024年秋の健康保険証廃止はやめるべきでは。
- 答 現在の不安が払拭され、区民や医療機関等が安心・安全に利用できるよう、国の動向を注視し、迅速で適切な対応を図る。

インボイス制度について

- 問 制度で苦境に立たされる事業者の実態を把握しているか。
- 答 制度に関する事業者への相談対応は区内税務署の窓口で行われており、区は事業者の実態をつぶさに把握できる状況にない。
- 問 制度の中止を国に対して求めるべきでは。
- 答 国が制度のさらなる周知や個別相談体制の強化等の対応を進めるとしており、区としては国の取組を引き続き注視していく。

学校給食費の無償化をはじめとする
教育費の負担軽減について

- 問 (1)無償化を恒久的な制度とすべきでは。(2)弁当持参家庭や、都立特別支援学校の児童・生徒も給食費の無償対象とすべきでは。
- 答 (1)来年度以降の対応は予算編成を通じて区議会に諮る考えである。(2)無償化は学校設置者として提供する給食が対象で弁当持参家庭への補助は予定していない。支援学校に通う子どもの給食費や高等教育の無償化などは、各設置者や国が判断すべきもの。

その他質問事項 ①都有地の活用について ②熱中症対策について
③学童クラブの待機児童解消について ④教員不足の解消について



中央区議会立憲民主党
永井 佳代

子育て環境

- 問 政府が少子化対策の一つとして表明した「こども誰でも通園制度」により、親の就労形態や就労時間を問わず、誰でも時間単位で保育園を利用できるようになるが、本区での実現の可能性は。
- 答 保育所に新たな役割と責任が加わるため、受け皿となる保育所の体制整備を慎重に検討する必要がある。全園で一律に実施することは困難であると認識しているが、今後実施されるモデル事業の検証結果など、制度導入に向けた国の動向を注視していく。

本区の歳入確保

- 問 (1)インバウンド観光客を意識した施策は行っているか。(2)イ

ンバウンド観光客の消費に結びつくような施策の考えは。

答 (1)時代に即したツールを取り入れ、幅広く海外に向け情報発信するとともに、観光情報センターの運営や、フリーWi-Fiの設置など、来街促進と受け入れ環境の整備を図っている。(2)外国人観光客による消費の増加は、区内経済の下支えにも資すると認識。関係団体とも連携し、観光コンテンツを継続的に提供するなど、消費の拡大につながる取り組みを積極的に展開していく。

本区役所職員の労働環境

- 問 (1)仕事への熱意、信頼度、愛着度を数値で表したエンゲージメント指標の把握が必要では。(2)働き方改革はどのように行われているか。(3)多様な人材が活躍する機会の重要性について考えは。
- 答 (1)人材育成基本方針においてワーク・エンゲージメントを位置づけ、毎年実施しているストレスチェックの結果を指標の一つとしている。(2)超過勤務の縮減、有給休暇や育児休業の取得促進に取り組んでおり、一斉定時退庁日の呼びかけや休暇制度の周知など働きかけを強化していく。(3)複雑多様化する行政ニーズに対応した新たな発想を生み出していく上でも有意義であり、特性に応じた柔軟な働き方や合理的配慮などの環境整備が不可欠。

委員会の活動（令和5年5月～6月）

常任委員会

企画総務

- 〔議案の審査〕
- ◆令和5年度中央区一般会計補正予算

◆中央区特別区税条例の一部を改正する条例

◆災害に際し応急措置の業務等に従事した者に係る損害補償に関する条例の一部を改正する条例
- ほか33件
- 〔主な報告事項〕
- ◆令和5年4月1日現在の職員数について

◆特別区民税及び軽自動車税に係る特例の適用期限の延長等について
- ほか4件

区民文教

- 〔議案の審査〕
- ◆中央区立幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例

◆中央区立幼稚園設置条例の一部を改正する条例
- 〔主な報告事項〕
- ◆幼保連携型認定こども園の設置に係る公私連携協定の締結及び公私連携法人の指定について

◆子どもの居場所「プレディ」の利用状況について

◆中央区立小学校の教科書採択の実施について

◆令和4年度区立小・中学校における不登校の状況について
- ほか6件

福祉保健

- 〔議案の審査〕
- ◆中央区立福祉センター条例等の一部を改正する条例

◆中央区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例

◆中央区保育の提供等に関する条例の一部を改正する条例
- ほか1件
- 〔主な報告事項〕
- ◆月島三丁目北地区知的障害者グループホーム等（仮称）運営事業者の公募について

◆令和5年度学童クラブの利用状況について
- ほか9件

環境建設

- 〔議案の審査〕
- ◆中央区事務手数料条例の一部を改正する条例

◆中央区立児童遊園条例の一部を改正する条例

◆中央区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例
- ほか2件
- 〔主な報告事項〕
- ◆勝どき東地区第一種市街地再開発事業で整備される公共施設について

◆令和4年度河川水質調査結果について
- ほか13件

特別委員会

まちづくり・都市基盤対策

- 〔主な報告事項〕
- ◆K K線に係る都市計画について

◆令和5年度市街地再開発事業等の取組について

◆まちづくり協議会の報告について

◆区内における都市基盤整備及び都市活性プロジェクトの動向について

地域活性化対策

- 〔主な報告事項〕
- ◆中央区立区民館等の指定管理者候補事業者の選定について

◆中央区立晴海図書館の指定管理者候補事業者の選定について

子ども子育て・高齢者対策

- 〔主な報告事項〕
- ◆区立小学校における学童クラブとプレディの一体的運用の方向性について

◆中央区立特別養護老人ホーム「マイホームはるみ」等の指定管理者候補事業者の公募及び選定について
- ほか9件

防災等安全対策

- 〔主な報告事項〕
- ◆災害に際し応急措置の業務等に従事した者の損害補償に係る介護補償の額の改定について

新たに提出された請願

浜町公園の樹木の扱いおよび周知に関する請願

令和5年6月27日付で提出された上記請願は、6月30日の本会議にて環境建設委員会に付託し、審査することに決まりました。

中央区附属機関等議会選出委員および評議員

掲出は、各構成員のうち、議会選出の委員・評議員です。

- ◆民生委員推薦会（2人）
- 瓜生 正高 磯野 忠
- ◆国民健康保険運営協議会（3人）
- 瓜生 正高 原田 賢一 堀田 弥生
- ◆青少年問題協議会（6人）
- かみや俊宏 高橋まきこ 墨谷 浩一 山本 理恵
- 小栗智恵子 永井 佳代
- ◆都市計画審議会（8人）
- 瓜生 正高 磯野 忠 海老原崇智 高橋 元気
- 堀田 弥生 渡部 恵子 奥村 暁子 梶谷 優香
- ◆情報公開・個人情報保護審議会（2人）
- 瓜生 正高 磯野 忠

- ◆消防団運営委員会（6人）
- 太田 太 青木 かの 堀田 弥生 山本 理恵
- 小栗智恵子 梶谷 優香
- ◆都市整備公社評議員会（7人）
- 瓜生 正高 海老原崇智 小坂 和輝 墨谷 浩一
- 渡部 恵子 小栗智恵子 永井 佳代
- ◆防災会議（3人）
- 瓜生 正高 原田 賢一 かみや俊宏
- ◆国民保護協議会（3人）
- 瓜生 正高 原田 賢一 かみや俊宏

